©海事プレス社2026 禁無断転載

Daily Cargo

国際貨物量8.6%増、北米・アジアがけん引

■IATA統計・9月

国際航空運送協会（IATA）がまとめた統計によると、2026年9月の国際航空貨物輸送量（貨物トンキロ＝CTK）は前年同月比8.6%増となった（**表①参照**）。供給量（有効貨物トンキロ＝ACTK）は同3.3%増、貨物ロードファクター（LF）は同2.6ポイント上昇の52.9%だった。全地域で需要が前年を上回り、北米やアジア太平洋が成長をけん引した。人工知能（AI）関連貨物の輸送も、太平洋横断路線の好調を支えた。

主要地域別に航空会社の国際貨物輸送実績をみると、北米系航空会社が最も高い伸びを示し、輸送量は15.3%増、供給量は3.6%増だった。アジア太平洋は輸送量が10.0%増、供給量が5.8%増、欧州は輸送量が4.6%増、供給量が3.7%減だった。中東は輸送量が3.9%増、供給量が7.2%増と、需要の伸びは地域別で最も低かった。

主要レーン別の貨物輸送量成長率（CTKベース）を見ると、アジア―北米（市場シェア23.5%）が17.0%増と最も高い伸びを示し、8カ月連続の増加となった。アジア域内（同7.3%）は10.2%増で35カ月連続増、欧州―北米（同13.5%）は9.3%増で5カ月連続増、欧州―アジア（同21.5%）は6.0%増で43カ月連続増となった。

一方、中東関連レーンは引き続き落ち込んだ。欧州―中東（同5.2%）は18.0%減、中東―アジア（同7.4%）は10.2%減で、ともに7カ月連続のマイナスとなった。アフリカ―アジア（同1.3%）は2.6%増とプラス転換した。

IATAのマリー・オーウェンズ・トムセン上級副社長兼チーフエコノミストは、9月の航空貨物需要について、世界貿易や製造業活動の拡大に加え、人工知能（AI）関連貨物が太平洋横断路線の好調を支えたと説明。一方、収益面では燃料費の高騰を懸念し、「ジェット燃料価格は前年の2倍以上に上昇しているが、運賃水準（イールド）の上昇は追い付いていない」と指摘した。そのうえで、「輸送する貨物は不足していないものの、燃料価格が高止まりする中、採算を確保して輸送することが一段と難しくなっている」と述べた。

事業環境では、世界の商品貿易量が8月に前年同月比3.6%増となり、42カ月連続で前年を上回った。製造業の景況感も改善し、8月の世界製造業生産購買担当者景気指数（PMI）は53.8、新規輸出受注指数は51.9と、ともに過去5年間で最高となった。

一方、9月のジェット燃料価格は前月比17.5%上昇、前年同月比では103.4%高と2倍を超え、航空会社の収益を圧迫する要因となっている。

9月実績の詳細は**表①**、**表②**の通り。

表① IATA世界航空貨物実績

（単位：%）	2026年9月実績（前年同月比） 市場シェア*	輸送量（CTK）	供給量（ACTK）	貨物LF（ポイント）	貨物LF（水準）	2026年1～9月実績（前年同期比） 輸送量（CTK）	供給量（ACTK）	貨物LF（ポイント）	貨物LF（水準）
総合（国際＋国内）	**100.0**	**7.7**	**2.7**	**2.2**	**47.9**	**5.0**	**1.7**	**1.5**	**46.5**
アフリカ	2.1	4.7	▲1.2	2.7	47.0	6.5	▲0.4	2.9	45.5
アジア太平洋	35.8	8.6	4.9	1.7	50.7	7.6	4.8	1.2	48.2
欧州	21.4	4.5	▲1.6	3.2	54.6	5.4	2.6	1.4	53.9
中南米・カリブ	2.9	6.7	7.6	▲0.3	34.3	1.7	4.8	▲1.1	34.7
中東	13.2	3.8	7.0	▲1.4	44.0	▲5.3	▲5.5	0.1	44.7
北米	24.6	11.8	0.8	4.3	43.9	6.5	0.4	2.4	41.9
国際貨物	**87.9**	**8.6**	**3.3**	**2.6**	**52.9**	**5.5**	**2.1**	**1.7**	**51.9**
アフリカ	2.1	4.7	▲0.9	2.6	48.2	6.5	▲0.4	3.1	47.0
アジア太平洋	32.1	10.0	5.8	2.2	56.9	8.5	6.0	1.3	54.8
欧州	21.0	4.6	▲3.7	4.6	58.3	5.6	1.6	2.2	56.9
中南米・カリブ	2.5	6.6	7.1	▲0.2	39.1	2.2	4.3	▲0.8	39.3
中東	13.2	3.9	7.2	▲1.4	44.2	▲5.3	▲5.5	0.1	45.0
北米	17.1	15.3	3.6	5.2	51.1	8.3	2.3	2.8	49.5

＊市場シェアは2025年のCTKベース
CTK＝貨物トンキロ
ACTK＝有効貨物トンキロ
貨物LF＝貨物ロードファクター

注）地域別航空会社の貨物輸送実績増減。市場全体および地域別成長率は各航空会社の実績リポートおよび一部リポートの無いところは推測に基づく。なお、航空会社の輸送実績は登記上の国籍をもとに地域別に振り分けたものであり、該当する地域ごとの輸送規模を示すものではない

表② 主要レーンの2026年9月貨物輸送量成長率（CTKベース、市場規模順）

路線	需要伸び率（CTK）	備考	市場シェア
アジア―北米	17.0%	8カ月連続増	23.5%
欧州―アジア	6.0%	43カ月連続増	21.5%
欧州―北米	9.3%	5カ月連続増	13.5%
中東―アジア	▲10.2%	7カ月連続減	7.4%
アジア域内	10.2%	35カ月連続増	7.3%
欧州―中東	▲18.0%	7カ月連続減	5.2%
アフリカ―アジア	2.6%	プラス転換	1.3%

※市場シェアは2025年通年のCTKに基づく